

平成 31 事業年度に係る業務の実績及び第 3 期中期目標期間（平成 28～31 事業年度）に係る

業務の実績に関する報告書 正誤表

国立大学法人秋田大学

通し 番号	該当の頁・箇所	誤	正
1	7 頁・ 【平成 31 (令和元) 事業年 度の実施状況】	(略) 経済的負担がある学生については、 <u>全学経費</u> ( <u>学長主導の年度計画推進経費</u> ) による支援を受 け、学業支援金及び授業料免除等の学生支援を行 った (略)	(略) 経済的負担がある学生については、 <u>全学経費</u> ( <u>学長主導の年度計画推進経費</u> ) 及び本学の授業 料免除制度により、学業支援金及び授業料免除等 の学生支援を行った (略)

## 正誤表（達成状況評価）

12：秋田大学

No.	現況分析単位 (学部・研究科等)	頁数	誤	正	修正事由
01		p.42	(学生支援課の窓口利用時間内における	(学生支援 <u>・就職</u> 課の窓口利用時間内における	誤字があったため
02		p.48	高齢化先進県である秋田県において、	<u>高齢先進県</u> である秋田県において、	字句の統一のため
03		p.50	秋田大学医工連携ブランドロゴマークを表示しており、	秋田大学医 <u>理</u> 工連携ブランドロゴマークを表示しており、	字句の統一のため
04		p.51	医工連携ブランドロゴマーク使用の了承を得ており、	医 <u>理</u> 工連携ブランドロゴマーク使用の了承を得ており、	字句の統一のため
05		p.51	医工連携ブランドロゴマーク添付商品は累計で10品となり、	医 <u>理</u> 工連携ブランドロゴマーク添付商品は累計で10品となり、	字句の統一のため
06		p.52	自動車・航空機システムにおけるの日本唯一の実験施設を構築し、	自動車・航空機システムに <u>おける</u> 日本唯一の実験施設を構築し、	衍字があったため
07		p.54 および p.56	従来からのモンゴル科学技術工科大学や	従来からの <u>モンゴル科学技術大学</u> や	誤字があったため
08		p.73	認知症になる前の「軽度認知障害 (M C I : Mild Cognitive Impairment)の段階で	認知症になる前の「軽度認知障害 (M C I : Mild Cognitive Impairment) <u>」</u> の段階で	脱字があったため

## 正誤表（現況分析（教育））

12：秋田大学

No.	現況分析単位 (学部・研究科等)	頁数	誤	正	修正事由
01	03_教育文化学部	p.2	企業や自治体と連携した実習を組み込んでいる。	企業や自治体と連携した実習を組み込んでいる。	字句の整備
02	03_教育文化学部	p.4	「外国語習得プログラム」を設定している。	「外国語 <u>修得</u> プログラム」を設定している。	誤字があったため
03	08_理工学部	p.13	平成30年度は応用科学コースで1件、	平成30年度は応用 <u>化学</u> コースで1件、	誤字があったため
04	08_理工学部	p.13	参加する中高生が国際科学オリンピック代表候補になる可能性もあることから、	参加する中高生が国際 <u>化学</u> オリンピック代表候補になる可能性もあることから、	誤字があったため

## 正誤表（現況分析（研究））

12：秋田大学

No.	現況分析単位 (学部・研究科等)	頁数	誤	正	修正事由
01	04_理工学部・理工学研究科	p.4	本補助金はシニア教員から若□教員へのポスト振替を進めるなど、若□教員の安定的なポストを拡□し年齢構成を是正する先導的な取組を重点的に□援（人件費）するものである。	本補助金はシニア教員から若 <del>手</del> 教員へのポスト振替を進めるなど、若 <del>手</del> 教員の安定的なポストを拡 <del>大</del> し年齢構成を是正する先導的な取組を重点的に <del>支</del> 援（人件費）するものである。	フォントに相違があったため